

中国思想中国哲学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 セメスター	曜日	講時	頁
中国思想概論	明清思想史概論	2	三浦 秀一	3	火	1	1
中国思想概論	秦漢魏晉思想史概説	2	齋藤 智寛	4	火	1	2
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級1	2	齋藤 智寛	3	月	2	3
中国思想基礎講読	中国思想文献講読・初級2	2	三浦 秀一	4	月	2	4
中国思想各論	中国古代中世思想研究の現状	2	齋藤 智寛	5	金	2	5
中国思想各論	中国近世・近代思想研究の現状と課題	2	三浦 秀一	6	金	2	6
中国思想各論	陸王心学研究	2	小路口 聡	集中(5)			7
中国思想演習	錢大昕『論語』問答研究	2	三浦 秀一	5	水	2	8
中国思想演習	漢代思想文献精読	2	齋藤 智寛	6	水	2	9

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 1 講時

セメスター：3, **単位数：**2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB32101, **科目ナンバリング：**LHM-PHI202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

明清思想史概論

2. Course Title (授業題目)：

Ming-Qing China Intellectual History

3. 授業の目的と概要：

モンゴル王朝を打ち倒した明王朝は、朱子学を中心とする学術をその体制教学として整備するとともに、科举制度によってその普及をはかった。しかしその体制教学が形骸化するにともない、それを批判する思想活動が発生し、その活動は、やがて陳白沙や王陽明といった思想家によって体系化され、明代後半における知識人社会の主流となった。だが、その新たな学問に対しても批判の潮流が湧き起こり、そうしたなか明王朝は倒潰する。漢民族の王朝である明朝に替わって中国大陆を支配した満州族の清朝は、思想界の混乱を收拾すべく明朝以前の朱子学に依拠する姿勢を示し、かつまた漢民族の知的自由を制限するのだが、知識人社会における学術の主流は、中国の古典を文献実証的な方法によって解釈する学問へと移行する。しかし清朝中期以降、そうした禁欲の学問に対する自己批判の動きが生まれると同時に、欧州列強からの圧力により、西洋の学問が中国に流入することになった。思想学術のこうした歴史的展開について、原資料を紹介しながら解説してゆくことにより、時代思潮の特徴に関する理解を培い、あわせて中国思想史の基礎知識を、部分的ながらも習得する。

4. 学習の到達目標：

明・清両王朝の治下において、如何なる思想が形成され、またそれがどのように展開したのかを、その思想史的背景に溯りつつ、根拠にもとづきながら説明できる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス・序論

第2回：明初思想：宋濂の心学

第3回：明代前半の朱子学と科举

第4回：陳献章

第5回：陳献章の弟子たち

第6回：王守仁

第7回：王守仁の弟子たち（1）

第8回：王守仁の弟子たち（2）

第9回：明代後半の出版文化

第10回：明代後半の老荘学

第11回：清初の代表的思想家（1）：黄宗羲

第12回：清初の代表的思想家（2）：王夫之

第13回：四庫全書の編纂と戴震の思想

第14回：章学誠の六経皆史論

第15回：龔自珍と清代後半の思想情況

6. 成績評価方法：

3回の課題レポートによって成績を判断する。

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、配付資料によって授業をおこなう。基本的な参考書は第1回の講義において紹介する。

8. 授業時間外学習：

第1回講義において紹介された参考書等を読むとともに、配付資料を復習し、レポートの作成に備える。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想概論／ Chinese Thought (General Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 1 講時

セメスター：4, **単位数：**2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB42101, **科目ナンバリング：**LHM-PHI202J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

秦漢魏晉思想史概説

2. Course Title (授業題目)：

Intellectual History in Qin-Han through Wei-Jin era in China

3. 授業の目的と概要：

秦によって戦国時代に終止符を打たれた中国大陆は、漢による 400 年の統一を経て、魏晉期にはふたたび分裂の時代を迎える。この 400 年を思想史的に見れば、諸子百家の時代が終わり、法家思想や道法折衷的な政治思想がおこなわれる時期を経て儒教一尊体制が確立し、統一王朝の動揺とともに道家思想や宗教思想がふたたび関心を集めるまでの時期と言える。本講義は、この大きな流れの上に位置する諸思想を原典の翻訳にもとづいて解説するとともに、合わせて中心的な思潮に懐疑的な思想や、出土文物を手がかりに見えて来る精神世界についても紹介する。

4. 学習の到達目標：

講義で取り上げられた諸思想と歴史的背景とについて理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 秦漢思想前史：荀子の思想
3. 秦漢思想前史：韓非子の思想
4. 『呂氏春秋』の思想
5. 漢初の黄老思想と儒教思想
6. 『淮南子』の思想
7. 前漢武帝期の儒教思想
8. 『白虎通』と後漢初期の儒学
9. 桓譚『新論』と王充『論衡』の思想
10. 後漢末の儒学と政治思想
11. 魏晉玄学の思想
12. 魏晉期の古典解釈とその思想
13. 史学の成立と漢魏の学術史
14. 出土文物から見た古代思想：馬王堆帛書の世界
15. 出土文物から見た古代思想：非文字資料に現れた思想と信仰

6. 成績評価方法：

学期中の小テストまたは小レポート (30%)、期末レポート (70%)

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。参考書は講義中に随時紹介する。

8. 授業時間外学習：

紹介された参考書は積極的に読んでみることを。

9. その他：

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 月曜日 2 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB31202, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国思想文献講読・初級 1

2. Course Title (授業題目)：

Elementary Classical Chinese: Using Philosophical Texts 1

3. 授業の目的と概要：

句読点と訓点が施された中国思想文献を読む。漢文の基本的な語法に習熟すると共に、思想文献特有の思惟方法や表現形式に慣れるのが目的である。テキストとしては、安井息軒『大学説』を予定している。

4. 学習の到達目標：

訓点を頼りに中国思想に関する漢文文献を読むことができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入
2. 漢文基礎文法 1
3. 漢文基礎文法 2
4. 漢文基礎文法 3
5. 『大学説』読解 1
6. 『大学説』読解 2
7. 『大学説』読解 3
8. 『大学説』読解 4
9. 『大学説』読解 5
10. 『大学説』読解 6
11. 『大学説』読解 7
12. 『大学説』読解 8
13. 『大学説』読解 9
14. 『大学説』読解 10
15. 『大学説』読解 11

6. 成績評価方法：

予習状況と討論での発言状況 (100%)

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

8. 授業時間外学習：

辞書を引き、訓読と現代日本語訳を準備すること。

9. その他：

科目名：中国思想基礎講読／ Chinese Thought (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 月曜日 2 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB41203, 科目ナンバリング：LHM-PHI209J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国思想文献講読・初級 2

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to Chinese Philosophical Classics 2

3. 授業の目的と概要：

思想的な内容をもつとともに、訓点などが施された中国古典のテキストに対し、受講者各自が訓読や現代語訳、注解をおこなう。そうした訓練を重ねるなかで、高校段階における「漢文訓読」のレベルを超え、中国の古典文に対する深い読解が可能になるような基礎力を身につける。

4. 学習の到達目標：

思想系の中国古典文において特徴的な語彙や語法を知るとともに、古典文全般に対する基礎的読解力を培う。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンスとテキストの紹介

第2回：中国古典文の読解と討論（1）

第3回：中国古典文の読解と討論（2）

第4回：中国古典文の読解と討論（3）

第5回：中国古典文の読解と討論（4）

第6回：中国古典文の読解と討論（5）

第7回：中国古典文の読解と討論（6）

第8回：中国古典文の読解と討論（7）

第9回：中国古典文の読解と討論（8）

第10回：中国古典文の読解と討論（9）

第11回：中国古典文の読解と討論（10）

第12回：中国古典文の読解と討論（11）

第13回：中国古典文の読解と討論（12）

第14回：中国古典文の読解と討論（13）

第15回：中国古典文の読解と討論（14）

6. 成績評価方法：

授業時間内における報告内容（50％）、討論への参加度（50％）

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

8. 授業時間外学習：

漢和辞典を活用した、徹底的な予習。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB55202, 科目ナンバリング：LHM-PHI302J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

中国古代中世思想研究の現状

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to the contemporary researches for Chinese ancient and medieval thought

3. 授業の目的と概要：

日本国内の学術誌に発表された学術論文を題材に、中国古代中世思想研究の現状を把握し検討する。授業は、担当教員による講義と受講生による発表と討論の両形式により進める。発表では、発表担当者は自分の選んだ論文について紹介し、教員と他の受講生も当該論文の内容について討論する。学術論文について研究史や著者の課題といった背景を踏まえた読解をし、その理解の上に立って的確な批判と批評をおこなう能力を養うのが本講義の目的である。

4. 学習の到達目標：

学術論文の論旨を理解し、他人にも説明することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入。

2. 論文の紹介と批評 1

3. 論文の紹介と批評 2

4. 論文の紹介と批評 3

5. 論文の紹介と批評 4

6. 論文の紹介と批評 5

7. 論文の紹介と批評 6

8. 論文の紹介と批評 7

9. 発表と討論 1

10. 発表と討論 2

11. 発表と討論 3

12. 発表と討論 4

13. 発表と討論 5

14. 発表と討論 6

15. 発表と討論 7

6. 成績評価方法：

発表内容と討論での発言 (100%)

7. 教科書および参考書：

講義中に随時紹介する。

8. 授業時間外学習：

講義で取り上げる論文は各自読んでおくこと。

9. その他：

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：6, **単位数：**2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB65202, **科目ナンバリング：**LHM-PHI302J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

中国近世・近代思想研究の現状と課題

2. Course Title (授業題目)：

Recent Studies on the Thought of the Pre-modern and Modern China in Japan

3. 授業の目的と概要：

中国思想に関する日本語で書かれた研究論文・論著のなかから、いわゆる近世から近代にいたる時期を対象として執筆された最近の作品を読み、その概要をまとめる。受講生は、そうした作業を通じて、当該時代の研究状況を全体的に把握するとともに、個別の論文に対する批判的読解の作法を学ぶ。

4. 学習の到達目標：

学術論文の探索、読解、批判に習熟する。中国近世、近代の思想に関する研究の動向を掌握する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：中国近世思想関連論文選読（1）

第3回：討議（1）

第4回：中国近世思想関連論文選読（2）

第5回：討議（2）

第6回：中国近代思想関連論文選読（1）

第7回：討議（1）

第8回：中国近世思想関連論文選読（3）

第9回：討議（3）

第10回：中国近世思想関連論文選読（4）

第11回：討議（4）

第12回：中国近代思想関連論文選読（2）

第13回：討議（2）

第14回：中国近代思想関連論文選読（3）

第15回：討議（3）

6. 成績評価方法：

授業時間内における報告内容（50%）、討論への参加度（50%）

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、討論の対象となる研究論文をその都度、配付する。

8. 授業時間外学習：

自身が担当する論文について、論証方法や独自性などに注意しながら、その概要をまとめ、報告の準備をおこなう。自身が担当しない論文についても、事前に読んでおく。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想各論／ Chinese Thought (Special Lecture)

曜日・講時：前期集中 その他 連講

セメスター：集中(5), 単位数：2

担当教員：小路口 聡 (非常勤講師)

講義コード：LB98808, **科目ナンバリング：**LHM-PHI302J, **使用言語：**日本語

1. 授業題目：

陸王心学研究

2. Course Title (授業題目)：

Study of the mind learning by Lu Jiu-yuan and Wang Shou-ren

3. 授業の目的と概要：

中国哲学の研究とは、中国思想のテキストを、ひとつの哲学的資源として、主体的に読み、思索し、言葉にするという営みである。宋明の儒学者、主に南宋の朱熹と陸九淵、そして、明の王守仁と王畿という4人の哲学者のテキストの精読を通して、中国哲学の可能性について、一緒に考えていきたい。

4. 学習の到達目標：

- ・中国哲学の研究に興味を持つことができた。
- ・中国哲学のテキストを主体的に読むことの意義を理解した。
- ・中国哲学の可能性の一端に触れることができた。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

- 1) ガイダンス—中国哲学を学ぶことの意義
- 2) 「儒学」とは？——「学び」の主体としての人間の発見
- 3) 木下鉄矢氏の仕事をふりかえる——朱子学とは？
- 4) 哲学的人間観としての性善説の意義
- 5) 朱熹哲学の基軸——木下論文再読
- 6) 朱陸論争とは何だったのか？
- 7) 陸九淵心学再考
- 8) 「心の病」は医し難し —陸九淵の朱子学批判 (1)
- 9) 事実の楽しみ、言語の病 —陸九淵の朱子学批判 (2)
- 10) 「心学」の血脈——陸九淵・王守仁・王畿
- 11) 宋明儒学思想における「現在」主義の哲学
- 12) 王畿の思想——良知現成論とは？
- 13) 良知心学と講学活動
- 14) 『語り合う〈良知〉たち』について
- 15) まとめ

方法：

講義形式で行うが、演習や討議も取り入れる。受講者はあらかじめ配付されて原典資料を各自で読んでおくこと。また、授業で取り上げる哲学者達の問題提起について、討議を行うので、主体的に参加すること。

6. 成績評価方法：

評価項目としては、事前に課す課題(20%)、及び、事後に課すレポート (60%)、及び、授業における発言 (口頭、リアクション・ペーパー等/20%) をもとに、総合的に評価する。

7. 教科書および参考書：

教科書は、特に使用しない。プリントを配布する。

参考書：

小路口聡『即今自立の哲学——陸九淵心学再考——』研文出版

『哲学的資源としての中国思想——吉田公平教授退休記念論集』研文出版

小路口聡編著『語り合う〈良知〉たち——王龍溪の良知心学と講学活動——』研文出版

木下鉄矢『朱子学』講談社現代新書メチエ

木下鉄矢『朱熹再考』研文出版

木下鉄矢『朱熹哲学の視軸』研文出版

吉田公平『中国近世の心学思想』研文出版

8. 授業時間外学習：

講義の中で検討する原典資料 (漢文) を事前に配付するので、各自、読んでくること。

参考文献に目を通しておくこと。

9. その他：

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：三浦 秀一（教授）

講義コード：LB53204, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

銭大昕『論語』問答研究

2. Course Title (授業題目)：

Stydy of Qian Da-xin's "Lunyu Dawen(Questions and answers on the Analects)"

3. 授業の目的と概要：

清代中期の学者である銭大昕が残した『論語』をめぐる諸問題への問答を読み、その内容や問題解決の方法とを把握することによって、かかる知見の同時代的ないし思想史的意義を考察する。授業は、担当者が各自、テキストの訳注を作成し、それにもとづいて受講者全員が討議を重ねながら、より妥当な訳注の完成をめざす。

4. 学習の到達目標：

銭大昕による解釈の内容と方法とに習熟する。

中国古典文の訳注作業を覚える。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回：ガイダンス

第2回：第1条読解

第3回：同討論

第4回：第2条読解

第5回：同討論

第6回：第3条読解

第7回：同討論

第8回：第4条読解

第9回：同討論

第10回：第5条読解

第11回：同討論

第12回：第7条読解

第13回：同討論

第14回：第8条読解

第15回：同討論

6. 成績評価方法：

発表（60%）、受講態度（40%）

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せずプリントを配布する。参考書は講義のなかで紹介する。

8. 授業時間外学習：

担当者は、発表の準備を入念におこなう。担当者以外の受講者も、担当者と同等もしくはそれ以上に、読解のための予習をおこなう。また、発表時に配布されたレジュメ等に関しては、それを改めて読み直し、次回以降の授業に活用する。

9. その他：

特になし。

科目名：中国思想演習／ Chinese Thought (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 2 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：齋藤 智寛 (准教授)

講義コード：LB63203, 科目ナンバリング：LHM-PHI310J, 使用言語：日本語

1. 授業題目：

漢代思想文献精読

2. Course Title (授業題目)：

Reading and Research: the Thought of Han dynasty in China

3. 授業の目的と概要：

後漢・荀悦の『申鑑』を読む。漢文読解力を向上させつつ、原典を通して漢代思想についての理解を得るのが目標である。

4. 学習の到達目標：

句読点のほどこされていない中国古典文を読み、日本語に翻訳することができる。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 導入

2. 『申鑑』会読 1

3. 『申鑑』会読 2

4. 『申鑑』会読 3

5. 『申鑑』会読 4

6. 『申鑑』会読 5

7. 『申鑑』会読 6

8. 『申鑑』会読 7

9. 『申鑑』会読 8

10. 『申鑑』会読 9

11. 『申鑑』会読 10

12. 『申鑑』会読 11

13. 『申鑑』会読 12

14. 『申鑑』会読 13

15. 『申鑑』会読 14

6. 成績評価方法：

発表と討論での発言状況 (100%)

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、プリントを配布する。

8. 授業時間外学習：

予習のほか、未解決箇所は授業後に調べて次回の討論に備えること。

9. その他：